

第 6 号様式別表 2 の 2 記載の手引

1 この明細書の用途等

この明細書は、当該事業年度又は連結事業年度開始の日前 9 年以内に開始した連結事業年度において生じた控除対象個別帰属税額について、法第 53 条第 9 項の規定の適用を受けようとする場合に記載し、第 6 号様式の申告書に添付してください。

2 各欄の記載のしかた

欄	記 載 の し か た	留 意 事 項
1 「控除対象個別帰属税額①」	当該事業年度又は連結事業年度の開始の日前 9 年以内に開始した連結事業年度において生じた控除対象個別帰属税額について、古い連結事業年度又は事業年度の分から順次記載します。	
2 「控除未済額③」	①の欄の金額から②の欄の金額を差し引いた金額（前期分のこの明細書の「翌期繰越額」）を古い連結事業年度又は事業年度の分から順次記載します。	
3 「当期控除額④」	③の欄の金額と第 6 号様式別表 1 の③の欄の金額のうちいずれか低い金額を記載します。この場合において、第 6 号様式別表 1 の①の欄の上段の（ ）内に記載された金額があるときは、第 6 号様式別表 1 の③の欄の金額は、第 6 号様式別表 1 の①の欄の上段の（ ）内に記載された金額を控除したものとして計算します。	